

令和4年度

適 性 検 查 I

注 意

- 1 問題は **1** から **5** まで、19ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は**45分間**です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 性別・受検番号は解答用紙の決められた欄らん2か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

花子さんは、水泳に関する本を図書館で見つけ、読んでみることにしました。

次の文章は、高田由紀子著「スイマー」(ポプラ社) の一部です。これを読んで問1～問4に答えなさい。

高田由紀子著「スイマー」ポプラ社
176ページ5行目から180ページ1行目の文章による。

著作権法上の都合により、掲載できません。

(一部、ふりがなをつけるなどの変更があります。)

※1 龍之介のうねり……龍之介が、バタフライのタイムを縮めるために、「おれ」の助言で水の中をぬうように泳ぎ、水を味方にするような泳ぎしたこと。

問1 下線部①「いわゆるカエル足なんだよな」とありますが、このあとの「おれ」の行動の説明として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ウイップキックという泳ぎ方を紹介して、信司に泳ぎ方の特徴を言葉で説明した。
- イ ウイップキックという泳ぎ方があることを伝えて、信司の体に合う泳ぎ方だと言った。
- ウ 信司の泳ぎ方をまねしてから、ウイップキックという泳ぎ方に変える案を伝えた。
- エ 泳ぎ方をウイップキックに変えることを提案して、信司に見せるために実演した。

問2 本文中の空らん A にあてはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 聞き流すように
- イ 飲み込むように
- ウ はき出すように
- エ 首をかしげるように

問3 花子さんは、けん命に練習に取り組んでいる信司と「おれ」の様子を、次のようにまとめました。

【花子さんのまとめ】にある空らん B にあてはまる内容を、本文中からさがして
21字で書きぬきなさい。

【花子さんのまとめ】

信司は「おれ」に真剣な目で「ロケット練習」の手伝いをたのみ、「おれ」は信司がロケットみたいに進むようにとキックの練習をくり返すうちに熱が入り、「信司、いいよ！ 今の調子！」と、
B。

問4 この文章で表現していることについて説明したものとして最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 海人の視点を通して「おれ」と信司のプールでのやりとりをえがいている。そのようにえがくことで、「おれ」と信司が水泳を教える教えられるという上下関係ではなく、たがいに相手を支え合う対等な友人関係を築き上げるまでの過程を客観的に表現している。
- イ 登場人物どうしの会話が同じような内容で何度もくり返されている。そのことによって、「おれ」と海人、信司が会話をしているにもかかわらず、たがいの気持ちを確認できずにいらだち、3人とも挑戦する気持ちがなくなっていく様子を表現している。
- ウ 「腹の底で小さい虫が動くみたいに、またあせりが出てきそうになる。」と「はい上がっていあせりが消えて、体がふっと軽くなった気がした。」という対照的な内容が並べられている。そうすることで、信司が再び練習できるようになったことを喜ぶ「おれ」の姿を表現している。
- エ 信司が「おれ」を「向井くん」と呼ぶところと、場面の最後で「航くん」と呼ぶところで変化がつけられている。その変化を示すことで、へだたりのあった信司と「おれ」の関係に変化が生まれたことを表現している。

2

たろう かん しょうかい
太郎さんは、環境問題について考えたいと思い、図書館の先生から紹介された本を読んでみることにしました。

次の文章は、元村有希子著「カガク力を強くする！」（岩波ジュニア新書）の一部です。これを読んで問1～問4に答えなさい。

元村有希子著「カガク力を強くする！」岩波ジュニア新書
146ページ7行目から150ページ6行目の文章による。

著作権法上の都合により、掲載できません。

(一部、ふりがなをつけるなどの変更があります。)

- ※1 先進国……政治や経済、文化などが進んでいる国。
- ※2 インドネシアとマレーシア……いずれもアジア州の南東部にある国。
- ※3 ボルネオ島……インドネシアやマレーシアの一部がふくまれる島。
- ※4 戸籍……人の出生から死亡にいたるまでの親族関係を証明するもの。
- ※5 児童労働……子どもの発達を阻害するようなあまりに早い年齢から、子どもに仕事をさせること及び子どもから教育を受ける機会を奪うこと。国際労働基準では満15歳未満の子どもが仕事につくことは原則として禁止されている。
- ※6 ゆえん……理由。
- ※7 脊かす……危険な状態にすること。

問1 下線部①「熱帯雨林が失われた」とありますが、太郎さんはパーム油の増産のために熱帯雨林がアブラヤシ農園になった結果起きた問題を、次のようにノートにまとめました。次の【太郎さんのまとめ①】にある空らん A にあてはまる内容を、本文中からさがして13字で書きぬきなさい。

【太郎さんのまとめ①】

パーム油の増産のために熱帯雨林がアブラヤシ農園になった結果、

- ・貴重な野生生物やジャングルによって守られていた生物多様性は損なわれた。
- ・貧しい移民の人たちが農園で働いており、その中には戸籍がなく A もいる。世界的な問題となっている児童労働が見過ごされている状態である。

➡環境破壊の問題と社会的な問題という、2つの問題が同時に起こっている。

問2 太郎さんは、本文中にあるパーム油にかかるさまざまな問題の解決方法についてまとめました。

下の【太郎さんのまとめ②】の空らん 、 にあてはまる内容を、それぞれ は「栄養」という言葉を使って14字以上18字以内、 は「失業」という言葉を使って24字以上28字以内で書きなさい。また、空らん にあてはまる内容として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア パーム油は多くの加工食品に使われているが、明示されていないことが多い
- イ パーム油の問題から、今度は大豆や菜種の問題に変わってしまう
- ウ パーム油の日本での消費量を少し減らしても、根本的な解決にならない
- エ パーム油が健康によい植物油だというのは事実で、日本では特に人気がある

【太郎さんのまとめ②】

パーム油にかかるさまざまな問題を解決するための方法とその課題

方法1 パーム油をやめる

- ⇒課題 というおそれがある。
- というおそれがある。

方法2 パーム油を使った商品を買わないようにする

- ⇒課題 ので、現実的でない。

→パーム油をやめる、パーム油を使った商品を買わないようにする、といった方法でパーム油がかかえているさまざまな問題を解決するのは難しい。

問3 下線部②「私たち一人一人に突きつけられた問題」とありますか、筆者がこのように述べる理由として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 野生動物を保護し、豊かな自然とともにあったそれまでのマレーシアの暮らしを取り戻すことは、わたしたちにとっても、手っ取り早くお金になる「金の卵」であるから。
もど
- イ パーム油の生産を進める国や生産者たちだけの問題ではなく、それを輸入している立場の私たちも当事者であるということを自覚するべきだから。
- ウ マレーシアで14頭ものゾウが集団で毒殺されたとみられているように、わたしたちも今後ゾウを「害獣」として嫌うようになってしまうかもしれないから。
- エ サラダ油やオリーブ油より高級で健康によいので、パーム油が先進国で肥満に悩む人たちを中心の人気となったことが原因だから。

問4 本文中に述べられていることとして、最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア パーム油の世界の生産量は約40年間で10倍以上となったが、環境負荷かを減らしたいと考える先進国はパーム油の輸入量を減らしていく傾向にある。
- イ 世界のパーム油の8割以上を生産しているインドネシアやマレーシアの人々は、きわめて難しいとされている熱帯雨林の再生にも積極的に取り組んでいる。
- ウ マレーシアは国として発展するため、パーム油の生産を増やそうとしているが、野生生物の保護もしていかなければならないという相反する課題を突きつけられた状態である。
- エ パーム油は「原材料」の欄に表示する必要がないうえ、ふだん食べるものの中には使われていないため、「見えない油」と呼ばれ、消費者は使っているという意識をもちにくい。

3

花子さんは、情報社会について調べているとき、現代の「本」について書かれた本を見つけて、読んでみることにしました。

ナカムラクニオ著「本の世界をめぐる冒険」ＮＨＫ出版
29ページ13行目から33ページ11行目の文章による。

著作権法上の都合により、掲載できません。

(一部、ふりがなをつけるなどの変更があります。)

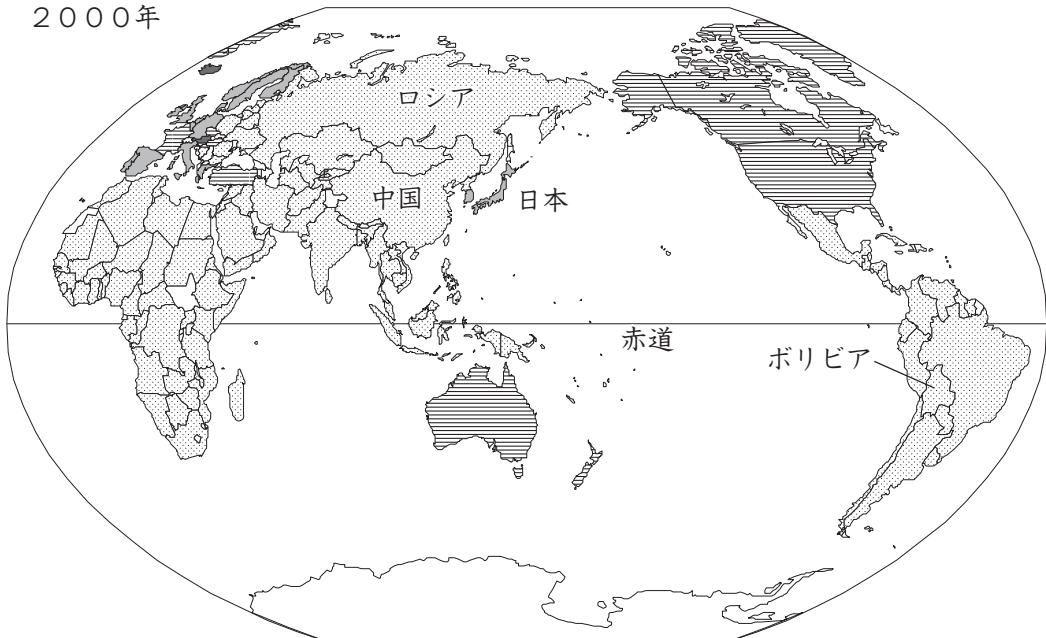
- ※1 ボリビア……南アメリカ大陸中部に位置する国。
- ※2 デジタル……情報などをコンピュータで使えるデータの形にしたもの。
- ※3 サハリン……北海道の北に位置する島。
- ※4 媒体……伝達などの手段。
- ※5 保管性……物の保存・管理に適した性質。
- ※6 メリット……利点。
- ※7 即時性……時間のへだたりがない性質。
- ※8 タイムラグ……時間のずれ。
- ※9 デメリット……欠点。
- ※10 v s. ……対。対立関係を示す。
- ※11 ×……この場合、前と後を組み合わせることで、どちらの長所も活かされる関係になることを意味する。
- ※12 モバイル決済……スマートフォンなどをを利用して代金を支払うサービス。
- ※13 セルフレジ……バーコードの読み取りや精算を客自身が行うサービス。
- ※14 アナログ……情報などをデータ化せず、昔ながらの形（本やレコードなど）で保管したもの。

問1 下線部①「携帯の電波から逃れることのほうが難しい」について、世界の携帯電話の利用について調べた花子さんは、資料1、資料2を見つけました。資料1、資料2から読み取れることとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 資料1と資料2をみると、2015年のロシアの携帯電話のけい約数は、2000年と比べ、約70倍になり、携帯電話のふきゅう率は25～50%未満から75%以上になっている。
- イ 資料2をみると、2000年の中国の携帯電話のけい約数は世界計のうち約18%をしめていたが、2015年は世界計のうち約12%まで減少した。
- ウ 資料2にある4つの国の中で、2015年の携帯電話のけい約数が2000年と比べて、20倍以上になったのは、ボリビアである。
- エ 資料1と資料2をみると、2000年から2015年にかけて、日本の携帯電話のけい約数は約2.4倍になり、携帯電話のふきゅう率は50～75%未満から75%以上になっている。

資料1 100人あたりのけい約数をもとにした携帯電話のふきゅう率の変化

2000年



2015年



0～25%未満
 25～50%未満
 50～75%未満
 75%以上
 データなし

(ITUウェブサイトをもとに作成)

資料2 携帯電話のけい約数の変化

(単位:千件)

	2000年	2015年
日本	66,784	160,560
ボリビア	583	10,163
ロシア	3,263	227,288
中国	85,260	1,291,984
世界計	738,876	7,181,890

(ITUウェブサイトをもとに作成)

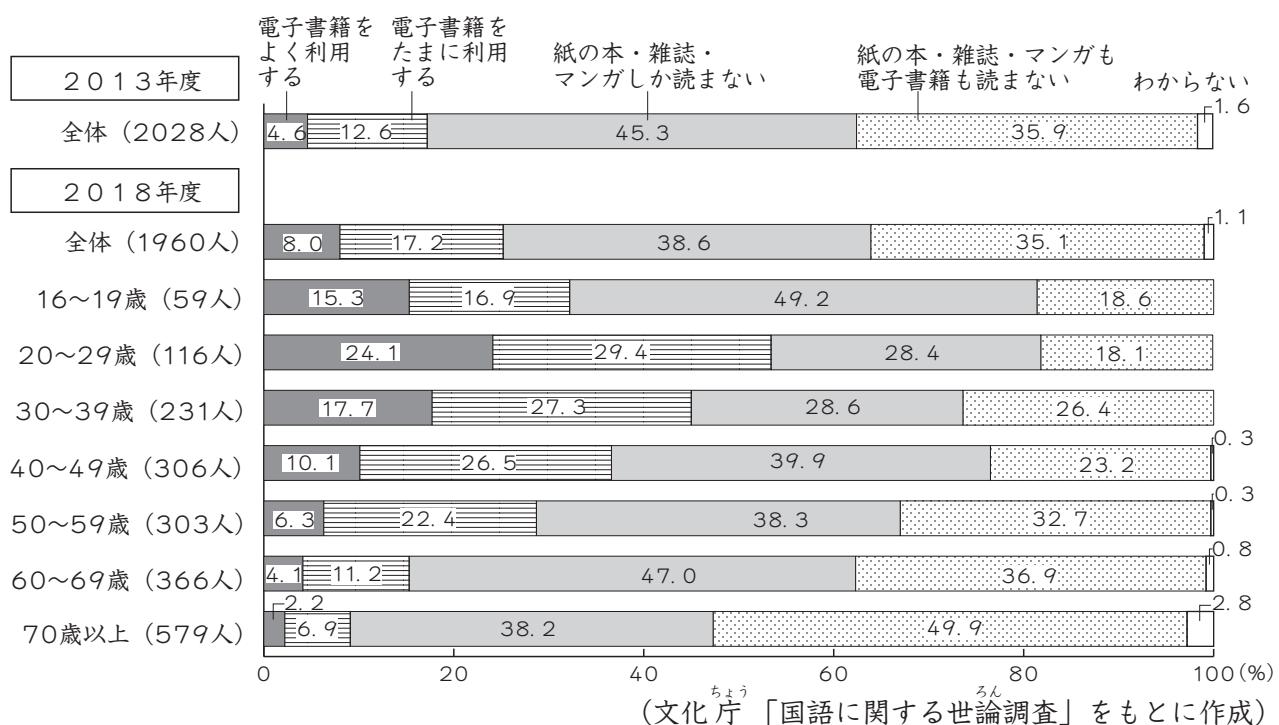
問2 下線部②「どんどん世界に広がっている」とあります。これは具体的にどのようなことを表していますか。「本」と本の意味に着目して、本文中で述べられていることとして、最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 本を読むことが苦手だった人々が、電子媒体によって「本」を容易に手に入れることができるようになり、多くの知識を得やすくなっていること。
- イ 本を手に入れることが容易である地域に住む人々の間だけで、電子書籍で「本」を読む習慣についていったことによって、電子書籍で「本」を読む人はますます増えていること。
- ウ 本を手に入れることが難しい地域に住む人々も、電子媒体が広まることによって、容易に「本」を手に入れられるようになっているということ。
- エ 輸送技術の発達により、地球上のどんな地域にいるどんな人でも、遠くで販売されている本を手に入れやすくなっていること。

問3 下線部③「『なぜロシアでは、電子書籍を読むのか?』と聞いたら、『なぜ日本人は、紙で本を読むのか?』と逆に質問されて、驚いたこともあります。」とありますが、日本の電子書籍の利用について調べた花子さんは、資料3を見つけました。資料3から読み取ることとして適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 2018年度の全体において、「電子書籍をよく利用する」と「電子書籍をたまに利用する」と答えた人の割合の合計は、全体の約4分の1である。
- イ 2018年度において、「紙の本・雑誌・マンガも電子書籍も読まない」と答えた人の割合が最も高い年代は、70歳以上である。
- ウ 2018年度において、「電子書籍をよく利用する」と「電子書籍をたまに利用する」と答えた人の割合の合計は、20～29歳、30～39歳ともに5割をこえている。
- エ 2018年度の全体のほうが2013年度の全体よりも「電子書籍をよく利用する」と「電子書籍をたまに利用する」と答えた人の割合の合計が8%多い。

資料3 電子書籍を含む書籍の利用状況



問4 本文から読み取れる筆者の考え方として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 本のデジタル化によって、電子書籍を楽しむことができるようになったが、紙の本を収集したいと考える人の方が多く、結局は、紙の本がこれからも主流であり続ける。
- イ 本のデジタル化によって、紙の本を買うことが難しかった地域に住む人でも紙の本入手しやすくなる一方で、電子書籍は、都市部の人など一部の人に楽しまれるだけのものになる。
- ウ 本のデジタル化によって、電子書籍の違法コピーが多く行われるようになつたので、紙の本の値段が高くなり、電子書籍も含めた本の売り上げが減少していく。
- エ 本のデジタル化によって、紙の本と電子書籍を競い合わせるのではなく、それぞれの特性を生かした楽しみ方を模索することが必要になってくる。

太郎さんは、総合的な学習の時間に、布を染める染料である藍を中心とした産業と生活について調べたことを発表することになりました。

次の問1～問3に答えなさい。

【太郎さんと花子さんと先生の会話】

先生：どうして藍を中心に発表しようと考えたのですか。

太郎さん：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のロゴマークに使われていた藍色が印象的だったので、調べてみたいと考えました。

花子さん：2020年には、さいたま市立博物館で、「さいたまのJAPAN BLUE（ジャパンブルー）～さいたまを染める！～」というタイトルで、藍がテーマの企画展が行われていました。藍の歴史や、藍を科学的に説明した展示などがあり、とても勉強になりました。

太郎さん：藍に関連して、新しい1万円紙幣の図柄（がら）になることで注目されている渋沢栄一の生家では、染料の藍玉を売っていたそうですよ。

花子さん：江戸時代、今の埼玉県では藍が商品作物として作られ、取り引きされていたそうです。商品作物とは、売ることを目的として作る作物のことです。

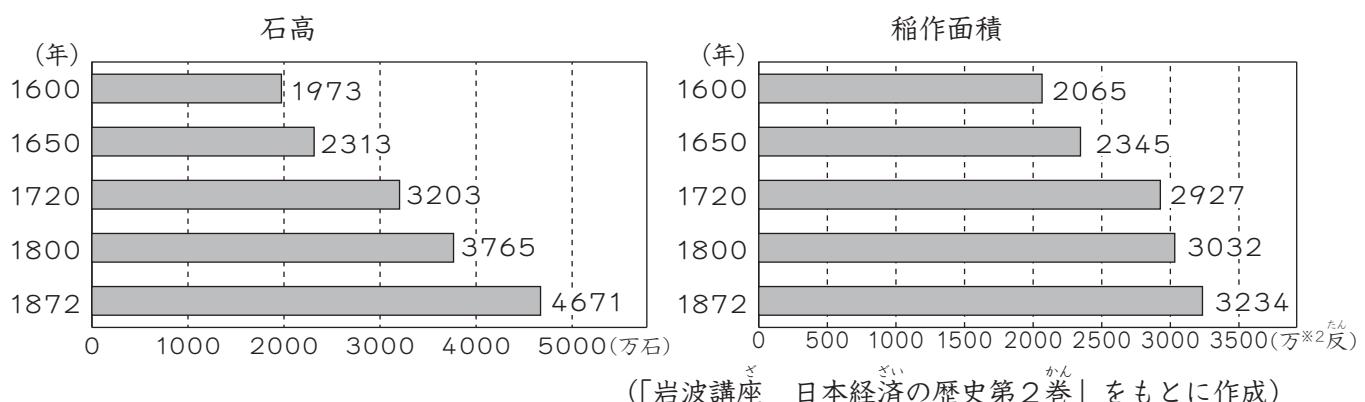
太郎さん：江戸時代は、日本各地で農民がお金を得るために商品作物を作っていたのですか。

先生：そのとおりです。

太郎さん：では、商品作物を作るようになったことで、日本の稻作（いな）はどう変化したのでしょうか。

花子さん：調べているときに、資料1を見つけました。この資料を見て、考えてみましょう。

※1 こくだか いな
資料1 石高と稻作面積の変化



※1 石高……米（穀物）の収穫量を「石」という容積の単位で表したもの。1石は約180リットル。

※2 反……土地の面積を表す単位。当時の1反は現在の約992m²。

問1 資料1から読み取れることとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1872年の石高と稲作面積は、ともに1600年の2倍以上になっている。
- イ 1600年から1872年まで、石高と稲作面積はともに減少し続けている。
- ウ 1720年から1800年にかけて、稲作面積の増加率は石高の増加率より高い。
- エ 1600年と1800年の1反あたりの石高を比べると、1800年のほうが多い。

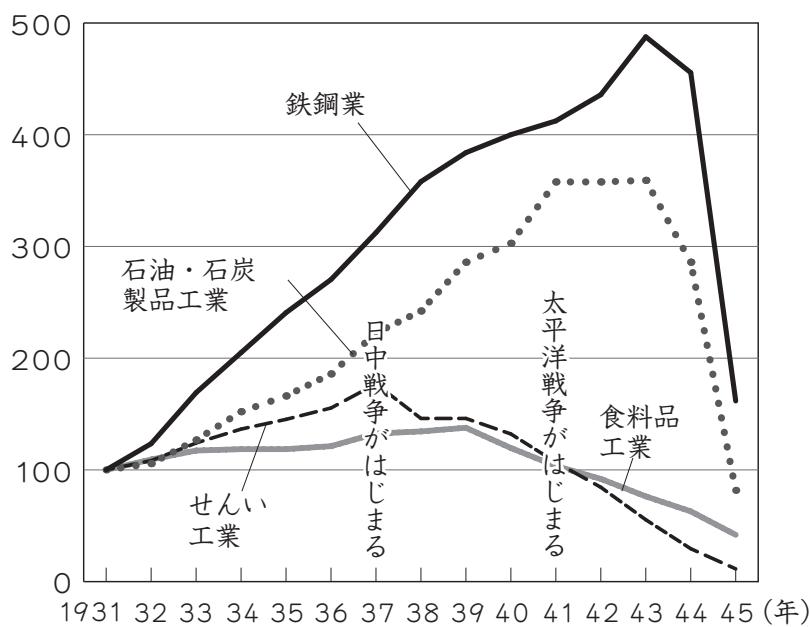
【太郎さんと花子さんの会話①】

太郎さん：日本の稲作の変化がわかりました。次に、藍の生産についても調べてみると、藍の生産は、1800年代後半に、合成染料の輸入などのえいきょうで減少したそうです。また、太平洋戦争中は、藍の生産が禁止されたそうです。

花子さん：なぜ、藍の生産が禁止されたのでしょうか。

太郎さん：わたしも疑問に思い、調べてみました。資料2は、鉄鋼業、石油・石炭製品工業、せんい工業、食料品工業について、1931年の生産活動を100としたときの指数で生産活動の変化を示したものです。この資料から、□A□ことがわかります。

資料2 生産指数の変化（1931～1945年）



（日本銀行統計局「復刻版明治以降本邦主要経済統計」をもとに作成）

問2 【太郎さんと花子さんの会話①】の空らん□A□にあてはまるものとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 鉄鋼業の生産指数について、1942年は1931年と比べて4倍以上に増加している
- イ 石油・石炭製品工業の生産指数について、日中戦争がはじまって以こう減少し続けている
- ウ せんい工業の生産指数について、1931年から1945年まで増加し続けている
- エ 食料品工業の生産指数について、1938年は1931年に比べて減少している

【太郎さんと花子さんの会話②】

花子さん：現在でも藍の生産がさかんな地域について調べて、どのようなことを発表するかをいっしょに考えましょう。

太郎さん：農林水産省で最後に藍の生産量の調査が行われたのは、2007年度でした。このときの生産量の1位は徳島県で、全国の約6割が生産されていました。徳島県で藍の生産がさかんな理由は、いくつかあります。

花子さん：江戸時代、徳島藩は、藍の生産をあとおしていましたそうです。また、徳島県を流れる吉野川は、肥料や作った藍を運ぶのに利用されました。吉野川は、藍の生産に適する養分の多い土をもたらしたそうです。

太郎さん：川があって水が得られるなら、米の生産もできるはずですが、吉野川の流域では江戸時代には米の生産がさかんではなかったと聞いたことがあります。

花子さん：吉野川流域で藍の生産がさかんな理由は、生産にかかる条件を調べるとわからと思います。資料3、資料4、資料5を用意しました。資料4は香川県のものですが、徳島県に隣接し、同じ四国地方にある県なので、これらの資料を活用してまとめを作りたいと思います。

資料3 徳島県の藍の生産カレンダー

3月	種まき
4月	いくびょうなえ 育苗・苗取り
5月	苗を畑に植える
6月	肥料をあたえる・草取り
7月	しゅうかく

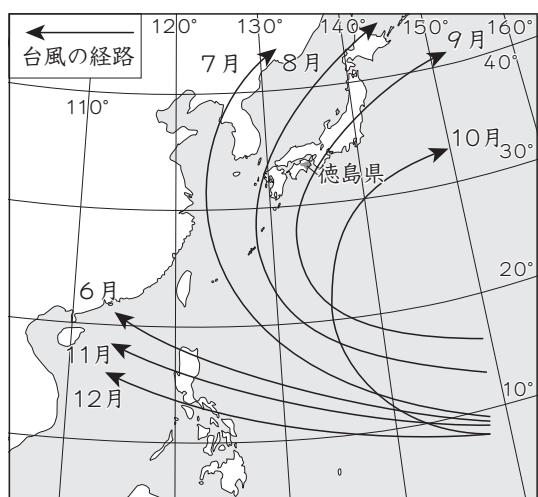
(「地域資源を活かす 生活工芸双書
藍」をもとに作成)

資料4 米の生産カレンダー

5月	育苗
6月	田植え・除草
7月	※3中干し
8月～9月	中干し終了・水管理
10月	落水・しゅうかく・乾燥・もみがらを取り除く

(香川県ウェブサイト「稻の苗作りからお米になるまでを追ってみよう！」をもとに作成)

資料5 台風の月別のおもな経路



※3 中干し……苗に酸素を取り入れるため、田んぼの土をかわかすこと

(気象庁ウェブサイトをもとに作成)

問3 【花子さんのまとめ】の空らん にあてはまる内容を、資料3、資料4、資料5のすべての内容をふまえ、30字以内で書きなさい。

【花子さんのまとめ】

江戸時代、徳島藩では、藍の生産がさかんに行われていた。現在も、日本国内における藍の大半は、徳島県で生産されている。資料3、資料4、資料5からわかるように、吉野川流域での藍の生産がさかんな理由の一つは、米作りとはちがい、 という利点があるからである。

SDGsの17の目標のうち、「つくる責任 つかう責任」に関心をもった太郎さんは、総合的な学習の時間に、ごみを減らすために行われている取り組みを調べることにしました。

次の問1～問3に答えなさい。

【太郎さんと先生の会話①】

先生：太郎さんは、何について調べることにしたのですか。

太郎さん：ごみを減らすために行われている取り組みを調べることにしました。まずは、さいたま市のごみの処理量と人口の変化を調べていて、資料1と資料2を見つけました。

先生：調べていて気づいたことはありますか。

太郎さん：資料1の2019年度には水害による災害ごみがふくまれていることがわかったので、他の年に着目してみました。2018年度まではごみの総排出量は毎年減少していますが、2020年度は、2018年度よりも増加しています。

先生：1人あたりの1年間のごみの排出量はどのようにになっていますか。

太郎さん：資料1のごみの総排出量と資料2を用いて1人あたりの1年間のごみの排出量を計算してみると、2020年度は、2018年度と比べて A しています。

先生：そのとおりですね。他にどのようなことがわかりましたか。

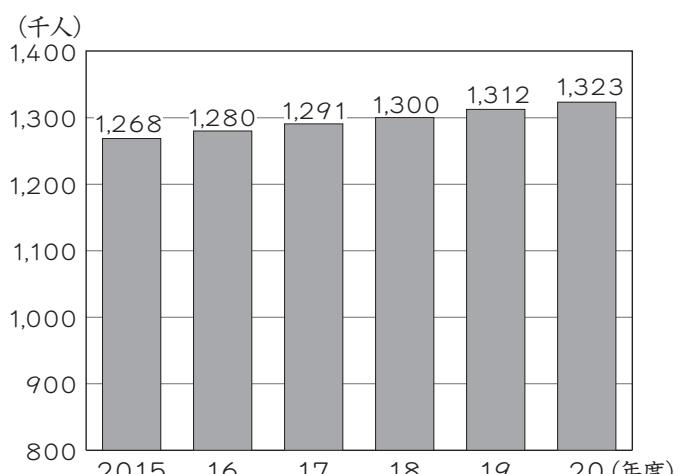
太郎さん：ごみの最終処分量をごみの総排出量で割ったものを百分率で表したものを見ると、さいたま市の最終処分率は約2.85%で、2015年度と比べて B しています。

先生：そうですね。さいたま市では、ごみを減らすためのさまざまな努力をしているようですね。

資料1 さいたま市のごみの処理量の変化

年度	ごみの総排出量 (t)	最終処分量 (うめ立て量) (t)
2015	423,694	15,474
2016	415,997	15,113
2017	415,385	15,515
2018	414,376	13,566
2019	422,930	13,326
2020	418,196	11,912

資料2 さいたま市の人口の変化



(資料1および資料2はさいたま市ウェブサイトをもとに作成)

問1 資料1、資料2から読み取れることをもとに【太郎さんと先生の会話①】にある空らん A 、 B にあてはまる内容として正しい組み合わせを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア A 増加 B 増加
ウ A 減少 B 増加

- イ A 増加 B 減少
エ A 減少 B 減少

【太郎さんと先生の会話②】

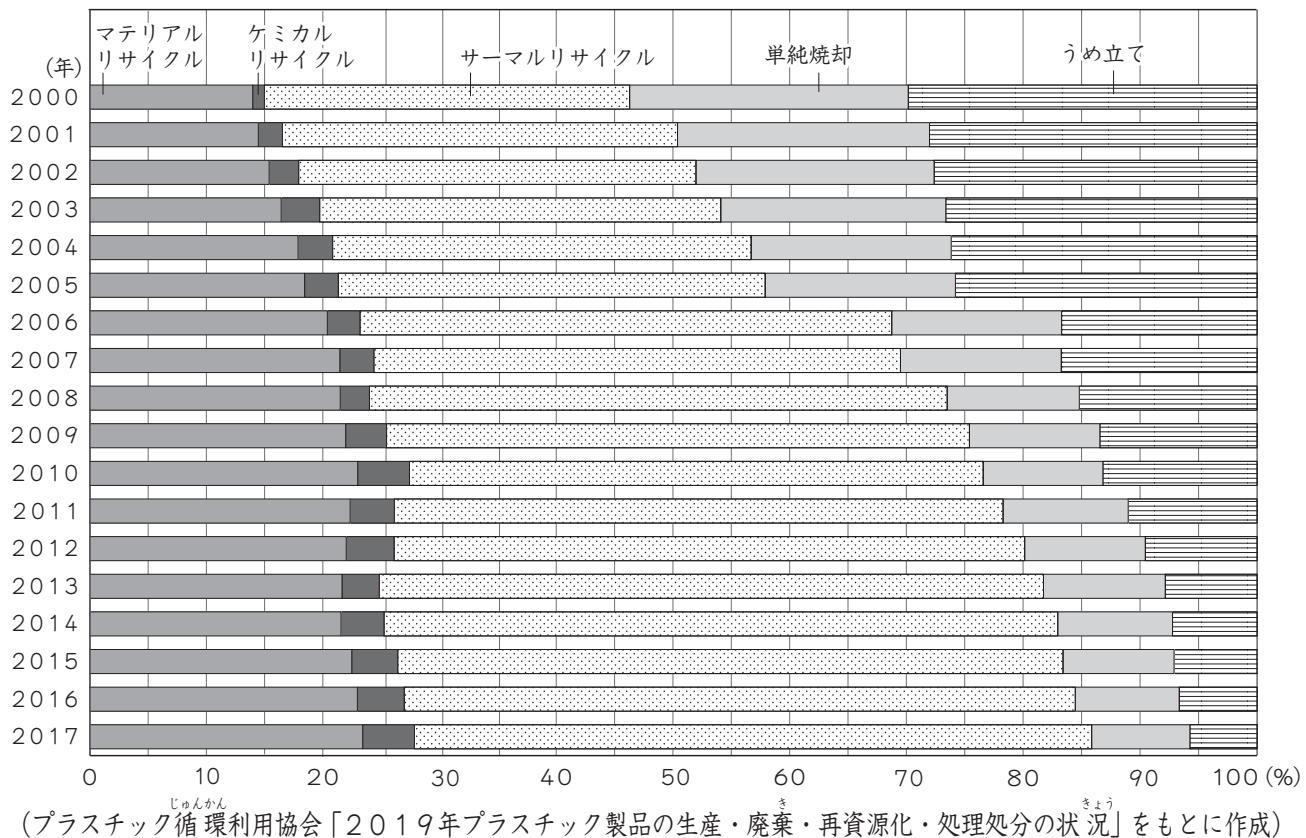
先 生：生活の中でごみを増やさないようにするために、どうしたらよいでしょうか。

太郎さん：資源になるものと、そうでないものを分別する必要があります。たとえば食品包装にはプラスチックがよく使われています。プラスチックごみのリサイクルについて、調べようと思っています。

先 生：プラスチックの原料は石油です。プラスチックごみについては、この資料3を見てください。資料3は、廃プラスチックとよばれる捨てられたプラスチックのうち、有効利用率と未利用率の変化を示したもので、有効利用とは、「マテリアルリサイクル」「ケミカルリサイクル」「サーマルリサイクル」のことです。日本ではこの3つの方法をリサイクルととらえています。未利用は、単純焼却やうめ立てのことです。資料4に、この3つのリサイクル方法についての説明が示されています。

太郎さん：リサイクルには、いろいろな方法があるのですね。

資料3 廃プラスチックの有効利用率・未利用率の変化



資料4 廃プラスチックのリサイクルの種類

マテリアルリサイクル	ケミカルリサイクル	サーマルリサイクル
廃プラスチックを原料として、プラスチック製品に再生する方法。	廃プラスチックを化学的に分解するなどして、化学原料に再生する方法。	廃プラスチックを焼却して、熱エネルギーを回収する方法。

(プラスチック循環利用協会「プラスチックとリサイクル8つの『?』」をもとに作成)

問2 【太郎さんと先生の会話②】をもとに、資料3、資料4から読み取れることとして適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 廃プラスチックの有効利用率は、2000年から2017年にかけて毎年増加している。
- イ 2017年の熱エネルギーを回収するリサイクルの割合は、2000年と比べて1.5倍以上に増加している。
- ウ 2017年には、廃プラスチックの8割以上がプラスチック製品または化学原料にリサイクルされている。
- エ 2017年の廃プラスチックの未利用率は、2000年と比べて3分の1以下に減少している。

【太郎さんと先生の会話③】

太郎さん：分別しているペットボトルもプラスチックでできていますよね。先ほど出てきた廃プラスチックに、ペットボトルもふくまれますか。

先生：ふくまれます。ペットボトルは、マテリアルリサイクルによって、ペットボトルやシート、せんいなどになりますよ。マテリアルリサイクルには「水平リサイクル」という方法があります。「水平リサイクル」とは、使用済み製品を原料として同じ種類の製品を作るリサイクルのことです。

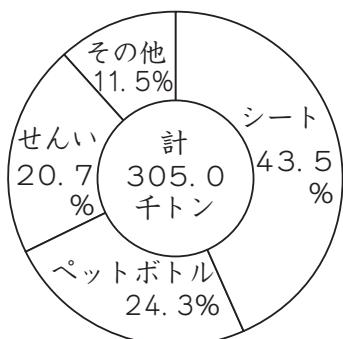
太郎さん：そうなのですね。ペットボトルからペットボトルにリサイクルされることは、「ボトルトゥーボトル」と言うと聞きました。ペットボトルと同じく、飲み物の容器に使われるアルミかんも、分別してアルミかんにリサイクルされるので「かん　TO　かん」と言いますか。

先生：そうですね。そのように言うこともあるようです。

太郎さん：リサイクルの面で、何かちがいがあるのでしょうか。

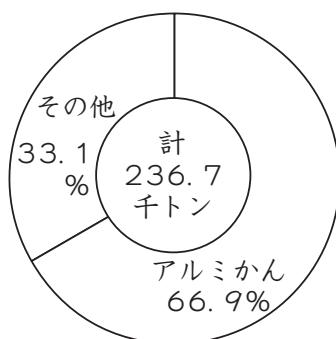
先生：次の資料5、資料6をもとに、ペットボトルとアルミかんのリサイクルのちがいについて考えてみましょう。

資料5 ペットボトルの国内再生利用量とリサイクルの内訳（2019年）



（P E T ボトルリサイクル推進協議会「P E T ボトルリサイクル年次報告書2020」をもとに作成）

資料6 アルミかんの国内再生利用量とリサイクルの内訳（2019年）



（アルミ缶リサイクル協会「2020年（令和2年）度 飲料用アルミ缶のリサイクル率（再生利用率）について」をもとに作成）

問3 太郎さんは、【太郎さんと先生の会話③】と資料5、資料6から読み取れることをもとに、【太郎さんのまとめ】を作成しました。次の（1）～（3）に答えなさい。

（1）空らん あてはまる数値を計算し、小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。

（2）空らん あてはまる内容を、次のア、イの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 高い イ 低い

（3）空らん あてはまる内容を、【太郎さんと先生の会話③】にある言葉を用いて7字で書きなさい。

【太郎さんのまとめ】

- ・資料5から、回収されたペットボトルはシートに最も多くリサイクルされており、再びペットボトルへリサイクルされたものの重さは約 千トンである。
- ・資料5、資料6をもとに考えると、アルミかんの「かん TO かん」率は、ペットボトルの「ボトル TO ボトル」率に比べ といえる。
- ・資料5、資料6をもとに考えると、ペットボトルよりアルミかんのほうが の割合が高い。

これで、問題は終わりです。